# 人文社会科学分野における 男女共同参画推進に向けての要望

#### 説明資料

人文社会科学系学協会男女共同参画推進連絡会

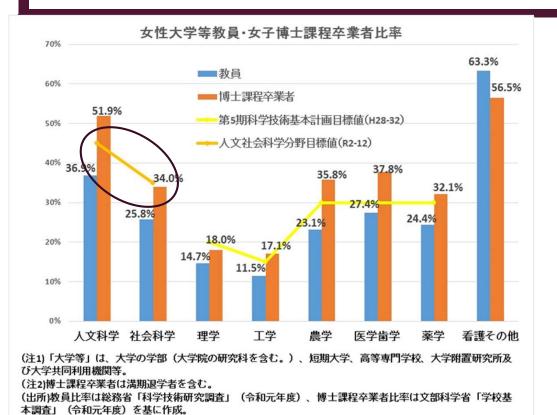
(Gender Equality Association for Humanities and Social Sciences, GEAHSS)

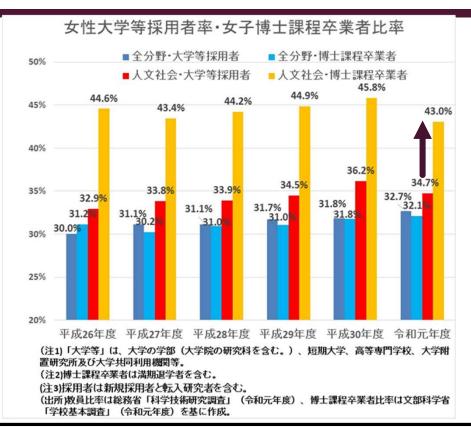
2020(令和2)年4月

# 要望のポイント

- 人文社会科学系学協会連絡会(GEAHSS)が発足しました。
- 人文社会科学系から初めての要望です。
- ①第5次男女共同参画基本計画と第6期科学技術基本計画に人文 社会科学系の女性割合の目標値を明示してください。
- ②人文社会科学系にも自然科学系同様の研究支援をお願いします。
- ③ライフイベントに配慮した両立支援を拡充してください。
- ④ジェンダー平等に資する研究・学問分野を支援してください。

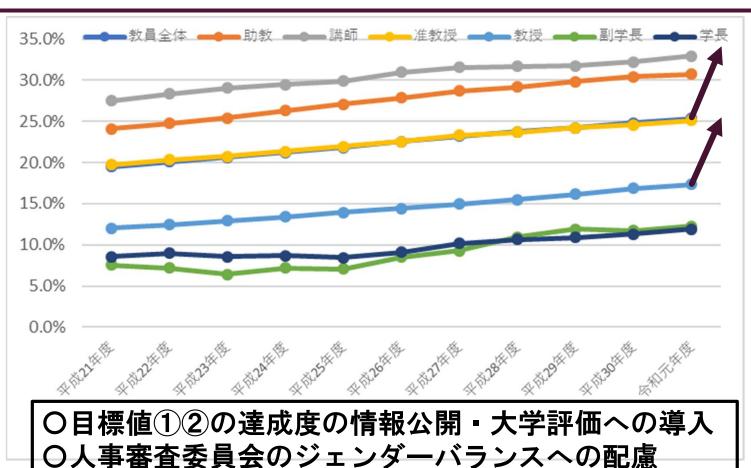
#### 目標値①人文社会科学全体で「203040」





人文科学分野45%以上,社会科学分野35%以上,新規採用40%以上

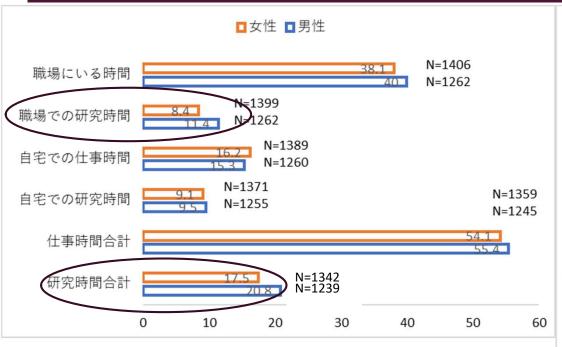
### 目標值②教授25%以上,准教授35%以上



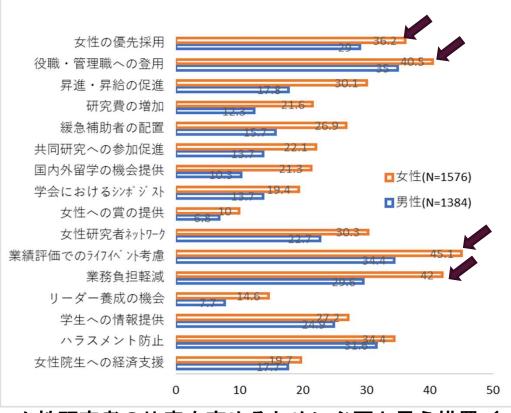
# 研究支援

- 文部科学省科学技術人材育成費補助事業 「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ」等の人文社会科学系への拡充
- く現状>科学技術の振興は「人文科学のみに係るものを除く」とされ、自然科学系のみの目標値が定められている。
- ■女性・若手研究者対象の海外派遣制度の一層の徹底

# 両立支援①実態調査から見えるニーズ



男女別の職場と自宅の仕事時間・研究時間 (単位:一週間当たりの時間)



女性研究者の比率を高めるために必要と思う措置(%)

### 両立支援②ライフイベントへの配慮

- 教育 研究機関における業務の見直しとワークライフバランスの 推進
- 子育て・介護中の研究者への経済的支援、業務の軽減、テレワークやフレックスタイムの推進
- 育児休業・介護休業取得時の代替教員にかかる人件費・旅費の支援, テニュアトラック教員が育児・介護休業を取得した場合のテニュア審査の延期制度・任期延長制度の徹底, 専業非常勤講師の出産時および復職への配慮
- 業績評価におけるライフイベントへの配慮の制度化



## ジェンダー平等に資する研究・学問の支援

- 科研費における細目「ジェンダー」の復活と「ジェンダー 学」の推進
- ●統計学,行動経済学,社会心理学等々の手法を取り入れた 『(異分野)融合研究領域』の創設(『科学技術分野における男女参画の推進に向けての要望』男女共同参画学協会連絡会 賛同学協会,2019)
- ジェンダーに関わる授業科目設置の推進
- 管理職へのアンコンシャス・バイアス研修の制度化